

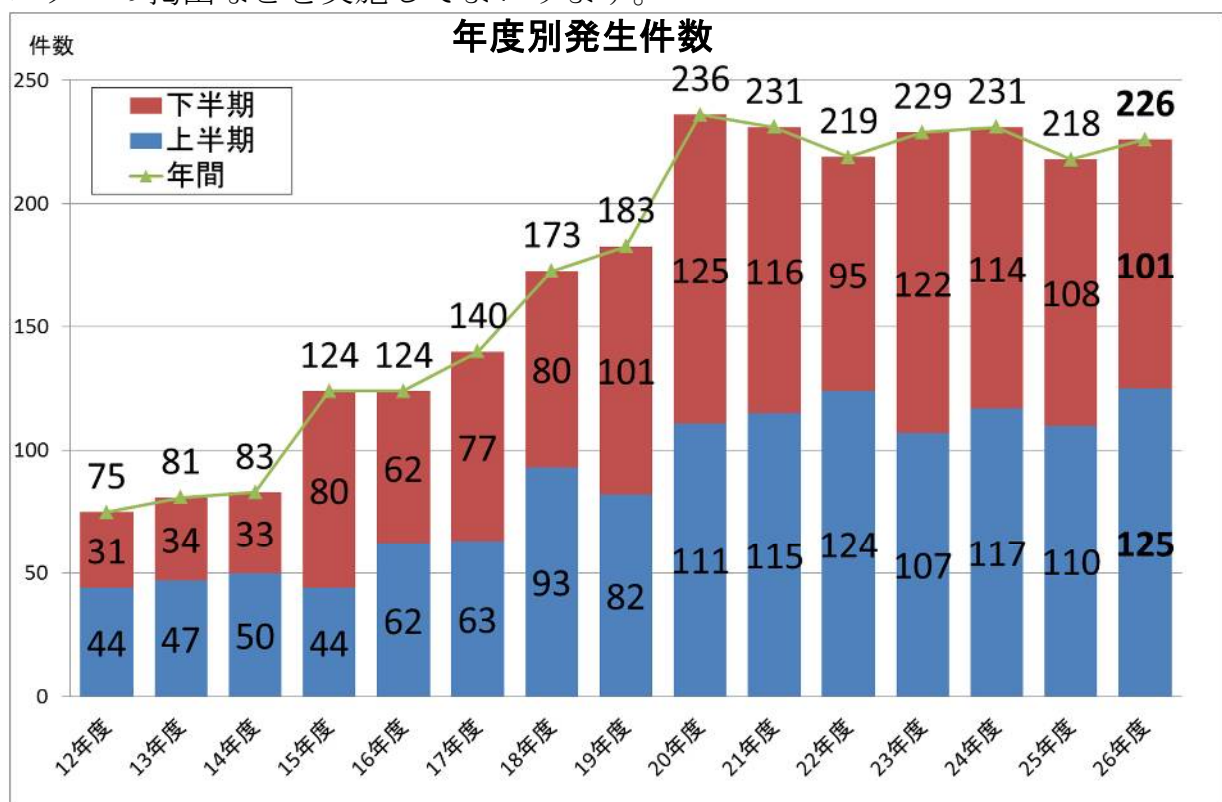
鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (平成26年度／大手民鉄16社)

日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における平成26年度（平成26年4月～平成27年3月）に発生した駅員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行いました。

暴力行為の発生件数は226件（上期125件、下期101件）と、平成20年度より7年連続での200件越えとなり、依然として高い水準で推移しています。

暴力行為が発生する状況としては、酩酊されたお客さまに近づいた時や理由なく突然に行われるケースが多く、時間帯については深夜帯（22時以降）の発生が多くなっています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しております。

犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、引き続き啓発ポスターの掲出などを実施してまいります。



（ご参考）以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています

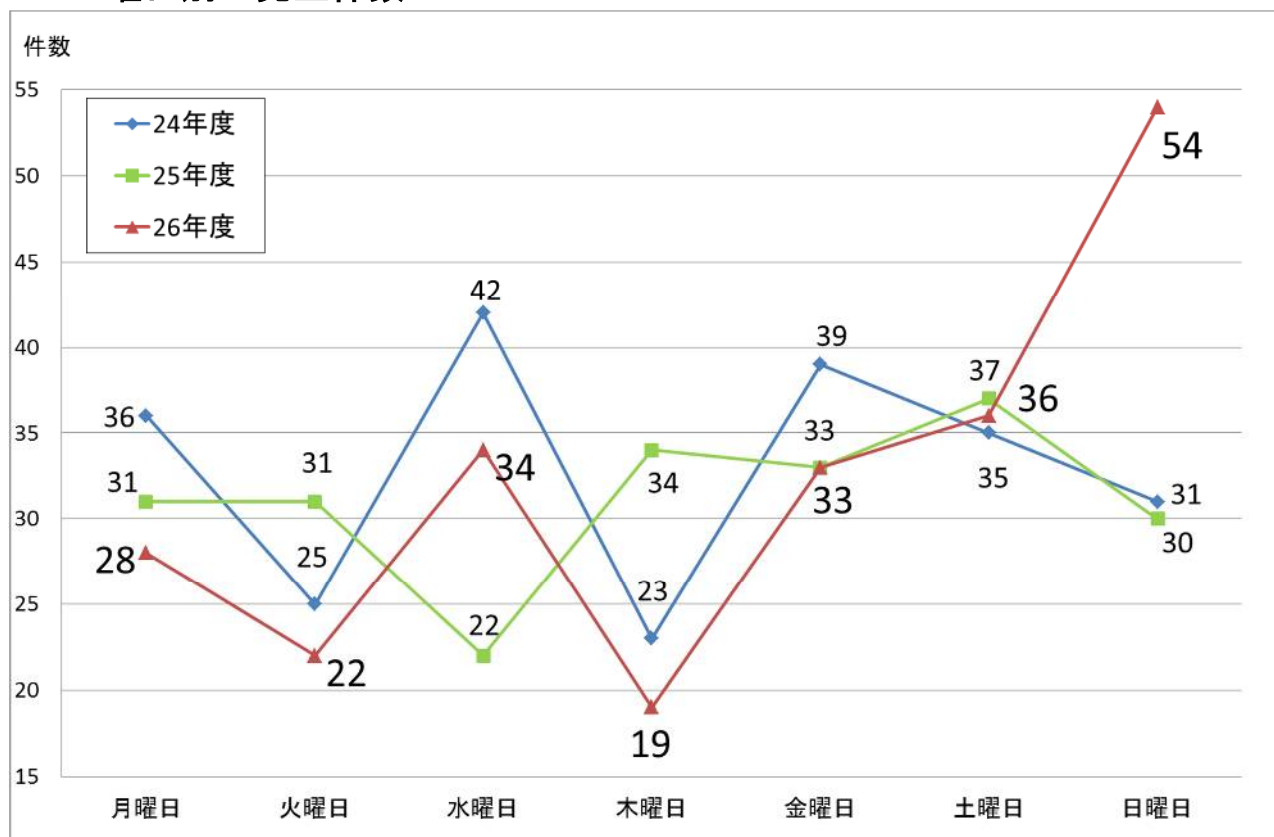
- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| 1. 曜日別 発生件数 | 2. 時間帯別 発生件数 | 3. 主な場所別 発生件数 |
| 4. 主な契機別 発生件数 | 5. 加害者年齢 | 6. 加害者の飲酒状況 |
| | | 7. 具体的事例 |

本日、この資料は下記の記者クラブにお届けしています

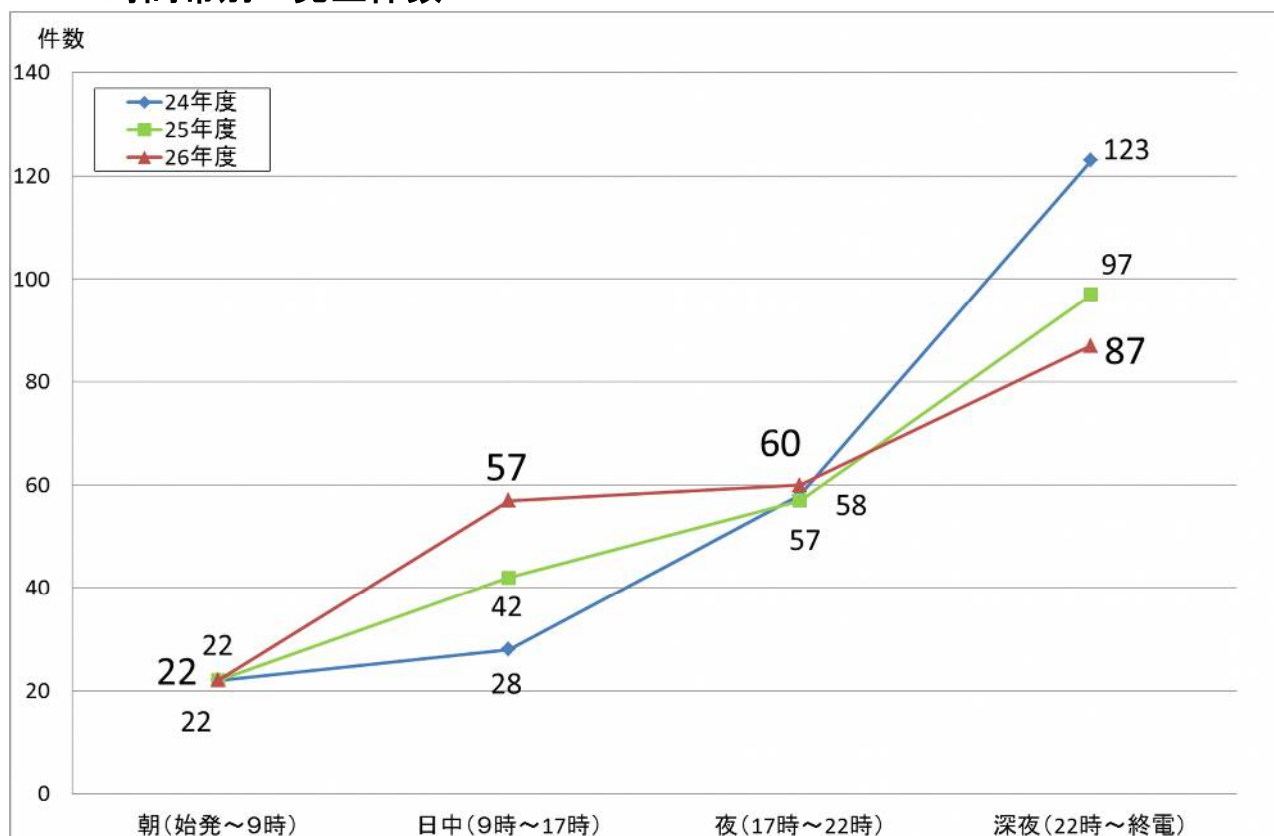
国土交通記者会・ときわクラブ・東海交通研究会・青灯クラブ・近畿電鉄記者クラブ・福岡経済記者クラブ

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等(詳細)

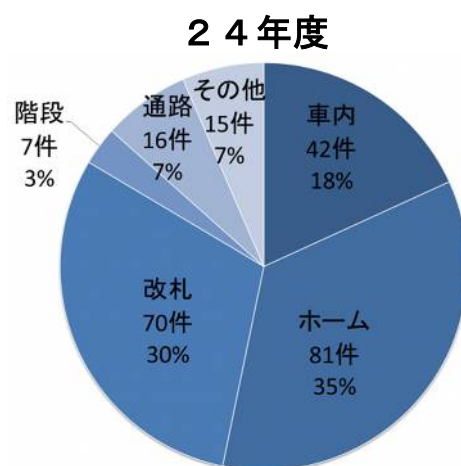
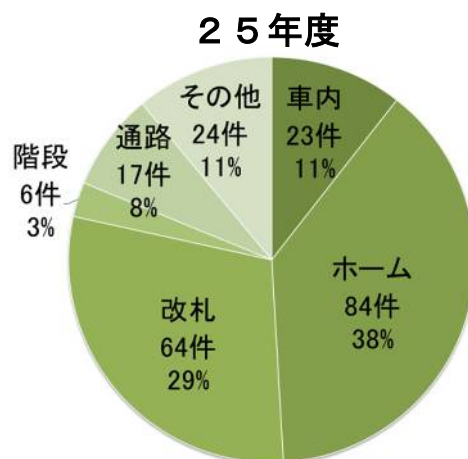
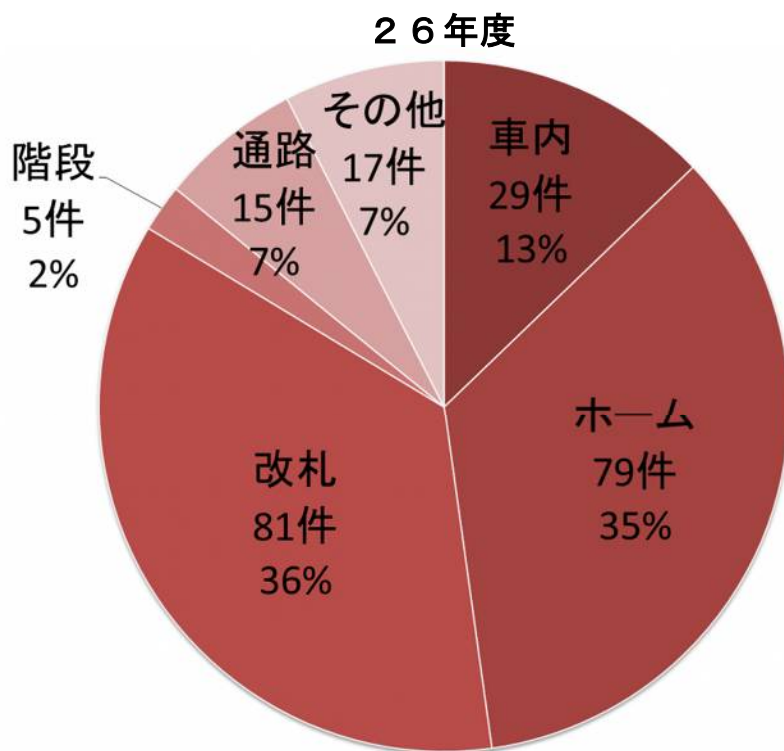
1. 曜日別 発生件数



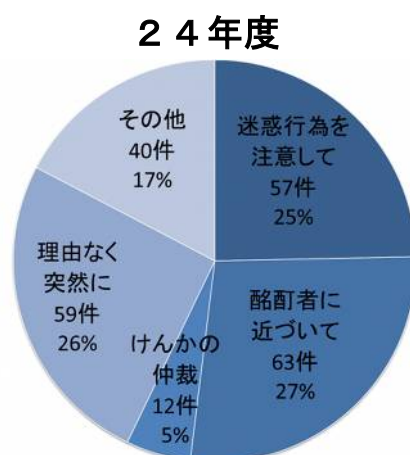
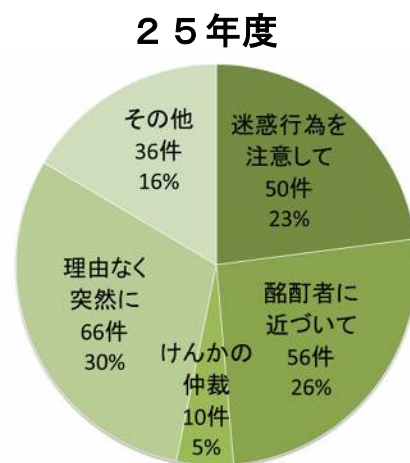
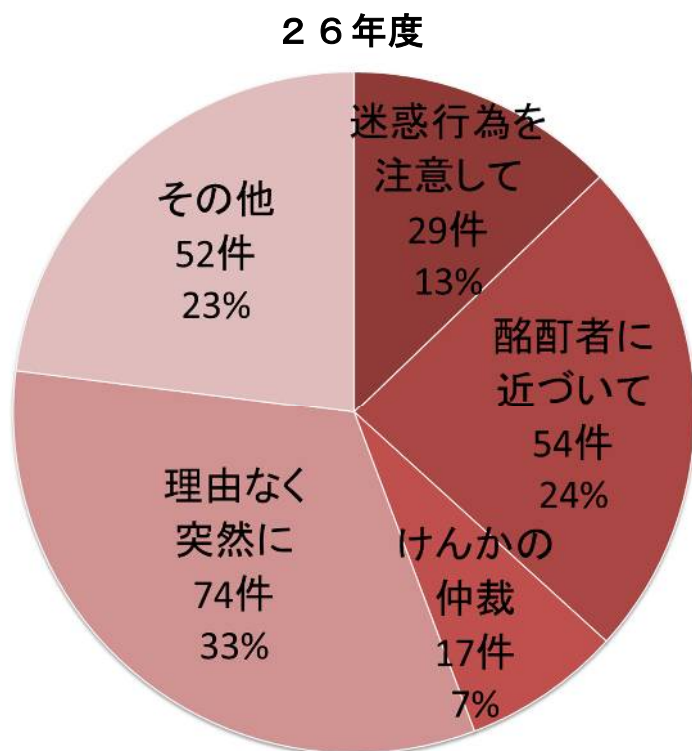
2. 時間帯別 発生件数



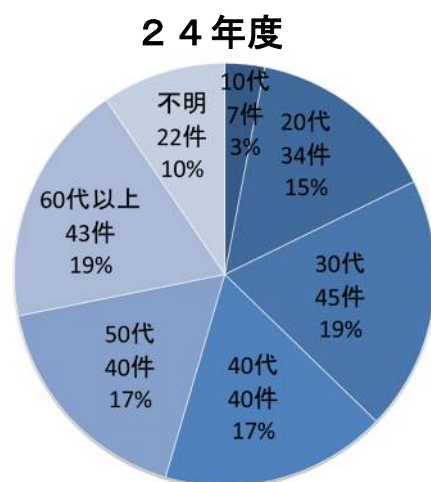
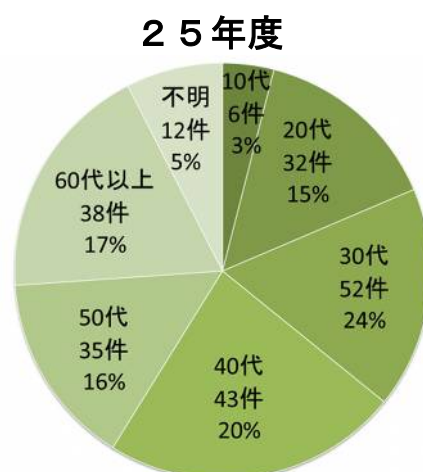
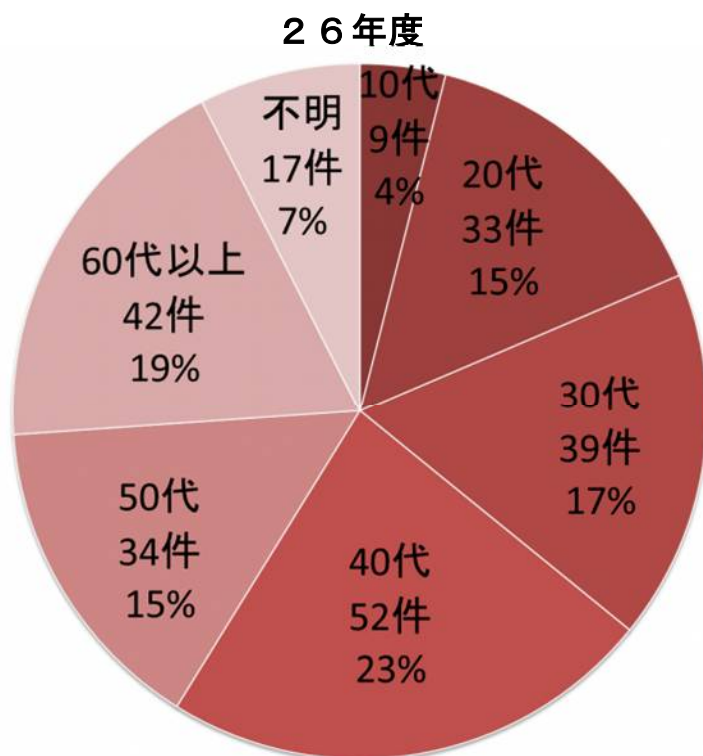
3. 主な場所別 発生件数



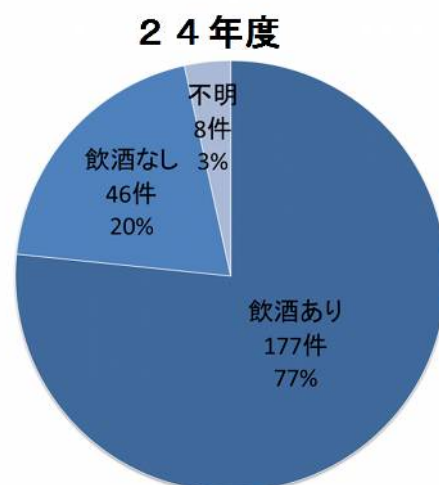
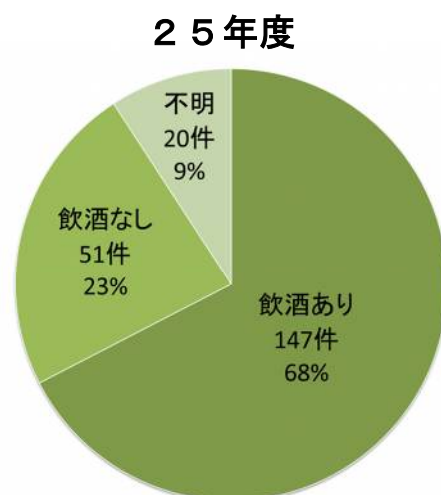
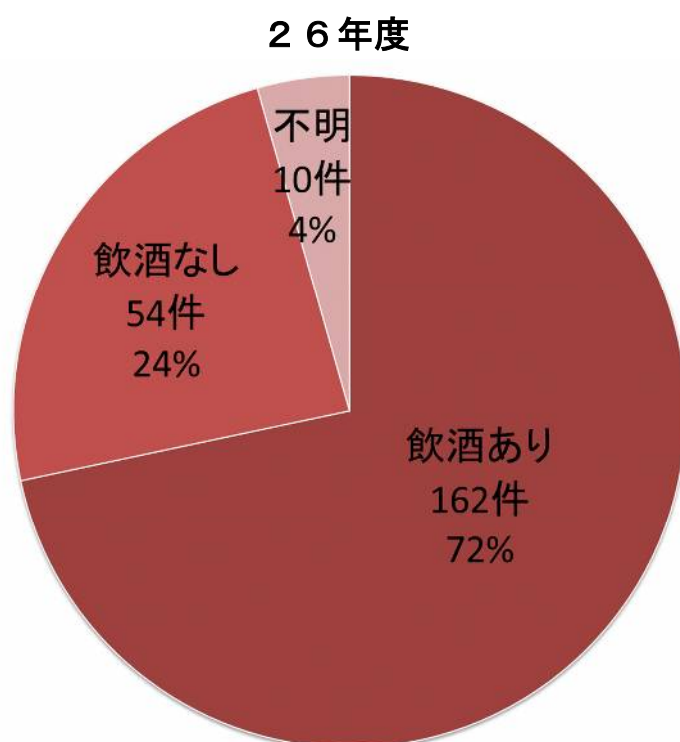
4. 主な契機別 発生件数



5. 加害者年齢



6. 加害者の飲酒状況



7. 具体的事例

【事例 1】

曜日	火曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	改札
契機	迷惑行為を注意して	年齢	40歳代	飲酒	あり

自動改札機を無札で通過したお客さまにお声掛けを実施し対応していたところ、激昂し係員の鼻の上部を叩き、制帽を叩き踏み潰した。

【事例 2】

曜日	土曜日	時間帯	日中（9時～17時）	場所	改札
契機	理由なく突然に	年齢	60歳代以上	飲酒	あり

係員は、お客さまに乗車券の購入について聞かれたため、案内しようとカウンターから出たところ、突然襟首を掴まれ、左足の脛を蹴られ負傷した。

【事例 3】

曜日	月曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	階段
契機	迷惑行為を注意して	年齢	60歳代以上	飲酒	あり

最終列車に乗車するため階段を上って来たお客さまに、最終列車はすでに発車したことを伝え制止しようとしたところ、立腹し腹部を殴打してきたため防御したが、その後に右手で左腕を殴打された。

【事例 4】

曜日	火曜日	時間帯	日中（9時～17時）	場所	改札
契機	理由なく突然に	年齢	20歳代	飲酒	なし

カウンターにて勤務中、お客さまが目的の駅名を告げ、突然カウンターに向けて小銭を投げつけた。自動券売機を案内するために、声を掛け案内を開始したところ、突然蹴られた。